



平成26年9月25日

## 文部科学省「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」

### 橋渡し研究支援拠点に採択

#### <概要>

岡山大学は9月5日、文部科学省の「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」の橋渡し研究支援拠点に採択されました。

本事業は、生命科学分野の基礎研究の成果を実際の医療に活用するための橋渡し研究（トランスレーショナル・リサーチ）を推進。基礎研究から実用化まで一貫した流れのもと、日本発の革新的な医薬品・医療機器などを創出する体制を構築するものです。

本学は「健康寿命の延伸を目指した次世代医療橋渡し研究支援拠点」という課題名のもと、日本の高齢化による新たな医療分野での研究開発を視野に見据え、医学、歯学、介護などの多様なニーズへ適切に対応できる橋渡し研究拠点を確立させ、迅速かつ革新的な医療技術、機器、健康支援製品などを提供していきます。

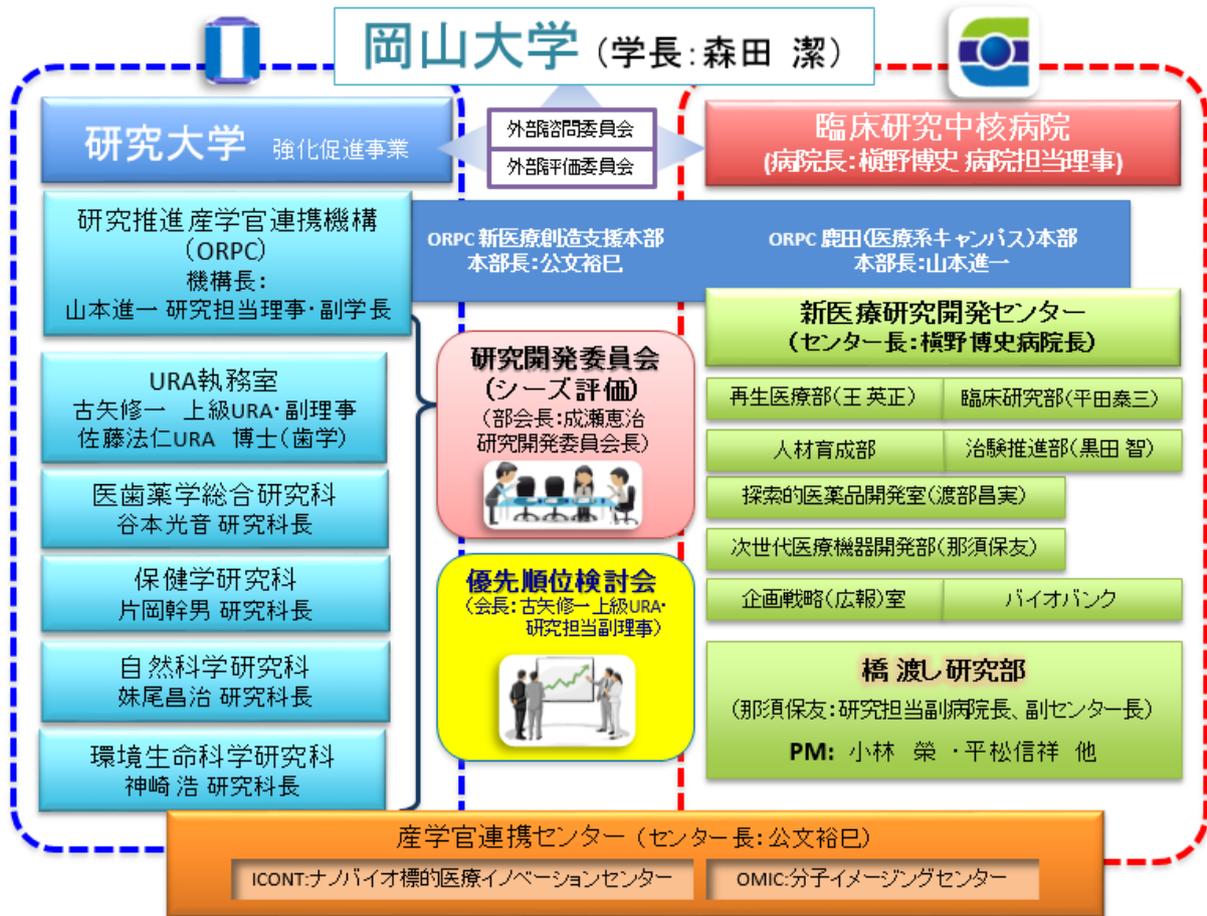
本学は9月5日、文部科学省の「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」の橋渡し研究支援拠点を整備する機関として、先に選定されていた全国7拠点に加え、新たに本学と慶應義塾大学の2拠点が選定されました。

本学は、「健康寿命の延伸を目指した次世代医療橋渡し研究支援拠点」（研究代表者：谷本光音大学院医歯薬学総合研究科長・教授）という課題名を設定。従来の強みである難治性固形がんに対する遺伝子治療を代表とする標的医療、小児心不全に対する細胞治療を代表する再生医療の実用化研究をより強力に推進するとともに、「健康寿命の延伸」に資する医学、歯学、栄養、介護などの多様な領域での研究開発を視野に見据え、ニーズへ適切に対応できる橋渡し研究拠点を確立させます。

また、本事業で重要となる研究シーズの探索・集積は、研究大学としての幅広く、かつ奥深い多種多様なシーズを有するだけではなく、臨床研究中核病院事業における「メガホスピタル・ネットワーク」を活用し、中国四国エリアの各大学・病院から集約した研究シーズをも実用化へとつなげる環境を構築し、一大学の限られたシーズ育成ではなく、中国四国エリアのシーズを集約して育成する体制を取ります（図参照）。

## 研究実施体制

代表研究者 谷本光音 医歯薬学総合研究科長



本学は、平成 25 年 8 月に文部科学省が全国の大学・研究機関から選定した「研究大学強化促進事業」<sup>1)</sup>の選定大学（国内 19 大学）の一つであり、「リサーチ・ユニバーシティ（研究大学）：岡山大学」としての高い研究力を有しています。また、岡山大学病院は平成 25 年 4 月に厚生労働省が全国の医療機関から選定した中国・四国地区唯一の「臨床研究中核病院」<sup>2)</sup>として、同地区の基幹病院とのネットワークを活用した大規模な臨床研究や治験、基礎研究から臨床応用にいたる橋渡し研究を精力的に実施しています。

この二つの強みを最大限に利活用し、本事業採択を目指すための準備を執行部、リサーチ・アドミニストレーター（URA）<sup>3)</sup>執務室、大学病院、大学院研究科が一丸となって進めてきました。



## PRESS RELEASE

基礎研究の核である「研究大学強化支援事業」、臨床研究（実用化）の核である「臨床研究中核病院」、今回の基礎研究と臨床研究を結ぶ「橋渡し研究加速ネットワークプログラム」の三つの核がそろった研究機関として、岡山の地から世界が求める医療を先導し、人類の発展に全力で貢献していきます。

### < 補 足 >

- 1) **研究大学強化促進事業**：大学等における研究力強化を促進し、世界水準の優れた研究活動の支援を目的に、平成 25 年度から始まっている文部科学省の事業です。本学を含め 22 の大学、大学共同利用機関法人が選定されました。

[http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news\\_id2681.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/news/news_id2681.html)

- 2) **臨床研究中核病院**：厚生労働省の臨床研究中核病院整備事業として平成 25 年 4 月に選定されました。本事業は、日本発の革新的な医薬品・医療機器の創出等を目的に、国際水準の臨床研究、難病等の医師主導治験及び市販後臨床研究等の中心的役割を担う「臨床研究中核病院」の整備を目的としており、国内 10 機関が選定されています。岡山大学病院は今後 5 年間、「臨床研究中核病院」として小児・稀少疾患難病等疾患別ネットワークを形成。医師主導治験でなければ実施困難な研究の支援や、国際水準の臨床研究において中心的役割を担います。具体的には、中・四国地方の基幹病院とのネットワーク（中央西日本臨床研究コンソーシアム）を活用し、200 床以上の病院 83 施設で大規模な臨床研究や治験を迅速に実施します。また、薬事開発の規制当局との高度な連携や、薬事承認を目指した研究を行う人材の育成、日本発の医薬品や医療機器の早期実用化、日本国内での医療産業化の加速を促し、社会に貢献できる体制を整備します。（リリース（平成 25 年 4 月 23 日）：岡山大学病院が「臨床研究中核病院」に選定 [http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix\\_id252.html](http://www.okayama-u.ac.jp/tp/topix/topix_id252.html)）

- 3) **リサーチ・アドミニストレーター（University Research Administrator : URA）**：「岡山大学における URA」は、学長直属として組織・配置され、研究担当理事・副学長と共に行動する執行部の研究ブレーン組織です。「学長特命（研究担当）」として、研究面で学長を補佐し、本学の研究方針の策定や大学改革の推進など経営的判断に立って行動する高度専門人材です。

### < 参 考 >

橋渡し研究加速ネットワークプログラム（文部科学省）：

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/boshu/detail/1351729.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1351729.htm)

#### <お問い合わせ先>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科等学務課

（電話番号）086-235-7981